

今後の検討スケジュールについて

1. 全体スケジュール

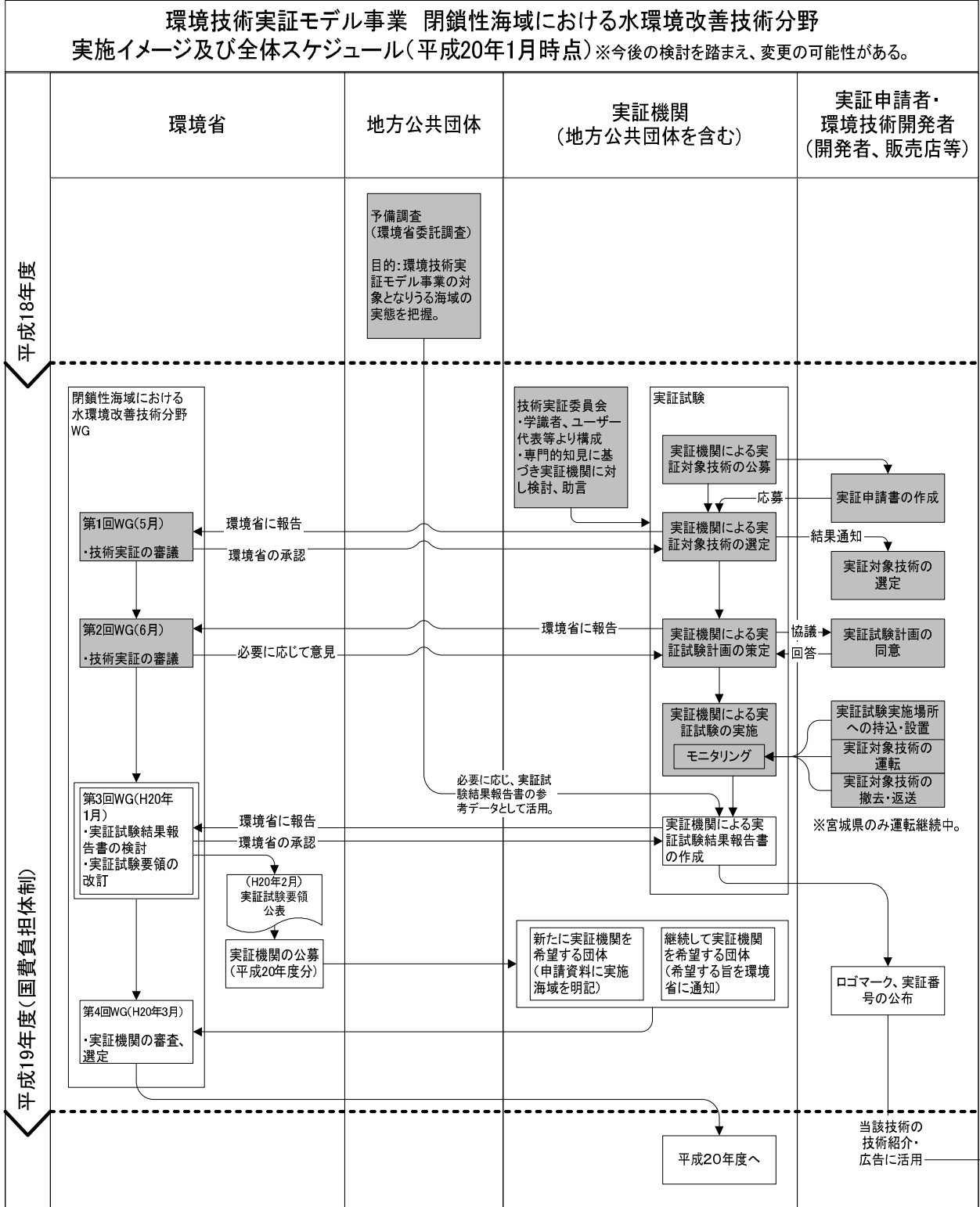


図 1 事業全体のスケジュール

2. 閉鎖性海域における水環境改善技術ワーキンググループ会合 年間予定

表 1 平成 20 年 1 月現在の年間予定および開催実績

目的	議事・会議資料案		
	実証試験要領／実施要領関連	実証試験関連	実証機関選定関連
(終了)第 1 回(5 月)非公開 実証対象技術審議 今後の予定(概要)		<ul style="list-style-type: none"> ● 実証対象技術の概要 ● 今後の予定(概要) 	
(終了)第 2 回(6 月)公開 実証試験計画(枠組み、日程)		<ul style="list-style-type: none"> ● 実証試験の枠組み／日程 ● 実証試験結果報告書とその概要版に関する説明 	<ul style="list-style-type: none"> ● 試験期間延長申請書式最終案
(終了)(事務局等による事前調整)	(WG3 に備え、試験要領・実施要領改訂方針を、各検討員に事前確認する)	<ul style="list-style-type: none"> ● 実証試験の経過確認 ○ 実証試験結果報告書概要版 1 次案 	
第 3 回(1 月)公開 試験結果報告書・試験期間延長承認 実証試験要領・実施要領改訂検討	<ul style="list-style-type: none"> ● 実証試験要領 最終案 ● 実施要領 改訂提案 最終案 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実証試験結果報告書 概要版 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実証試験期間延長の審議 ● 実証機関申請書式最終案
第 4 回(3 月)非公開 実証機関 選定	<ul style="list-style-type: none"> ● (検討会の日程によっては、実施要領 改訂提案の審議) 	(予備)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実証機関選定

※各回・時期の○印は、優先検討議題

※実証試験結果を扱う会合は、報告書最終案を扱う回を除き、非公開とします。また実証機関選定も非公開で実施します。

3. 実証機関からワーキンググループ等への報告予定

平成 19 年度事業において、実証機関は表 2 の通り、ワーキンググループ等に進捗を報告する。資料作成にあたっては、WG 事務局より、各実証機関に資料作成依頼と資料作成の書式等を提示する。

各実証機関は、ここで作成した資料等を技術実証委員会資料として利用してよい。また、技術実証委員会で使用した資料を、下記の資料に利用してもよい。

表 2 各ワーキンググループ会合にむけた作成資料一覧

ワーキンググループ 会合	左記会合用資料として、 実証機関で作成する文書	備考
(終了) 第 1 回 WG 会合 (5 月)	● 実証対象技術(案)の概要	● 技術の概要を確認
(終了) 第 2 回 WG 会合 (6 月)	● 実証試験計画 骨子	● 試験の枠組み、調査項目、日程等を確認
(終了) 事務局等による 事前調整(11 月)	● 実証試験経過報告 ● 実証試験結果報告書概要版 1次案	● 進捗、トラブル・課題等報告 ● 全実証機関で書式調整
第 3 回 WG 会合 (1 月)	● 実証試験結果報告書概要版	● 承認に関する助言
	● (実証試験延長申請書)	● (試験延長が必要な場合、申請)
第 4 回 WG 会合 (3 月)	● (実証機関申請書)	● (H20 年度実証機関を希望する場合)
	● (予備日:実証試験結果報告書)	● (必要に応じ)

表 3 WG に関する作業進行予定

時期	作業分担状況		
	WG開催	実証機関作業	WG事務局
5月		▼基本情報作成	▼技術概要 フォーム作成 ▼資料作成
6月	第1回WG	▼基本情報作成	▼計画フォーム作成 ▼概要版解説作成 ▼資料作成
7月			
8月			
9月		実証試験結果報告書 概要版の構成 に関する検討	▼試験経過報告 フォーム作成
10月		▼試験経過資料作成	▼資料作成 (この期間実証機関 ヒアリング実施)
11月	事務局等による 事前調整	▼実証試験結果 報告書の検討	▼実証試験延長 申請フォーム作成
12月		▼概要版構成 に関する再検討 (延長申請書作成)	▼資料作成
1月	第3回WG		▼実証機関 申請フォーム作成
2月		(概要版検討： 第3回WG以降、大きな 修正を要する場合) ▼(実証機関 申請書作成)	
3月	第4回WG		